

またまけま

せん

「」  
ごうで

げす

「たいそうあはし

てきたね

「君にはまけない

つもりさ

梅「君もつと

力をおいれ

「ふたわり

かゝつて

「ぼくたちが

見ている

なか／＼あらい

「あなた

しつかり

をし

「せんせの方が

ついでいま

すせ

「君はへんきやうをして

きたかぼくのほづか

ーしやうけんめいたか

らーばんやりましやう

家「ふたわりかゝつては  
とつてす

小「君もづん／＼

引はつておく

れよ

「ごうで

あらだの

目方ばかり

でもおもか

るつ

「ふとつていて

もわけはない

「なぬゆつくりと

ひきくらをこ

まじやう

「ずいぶんほねが

をれる

「これから一ばんこん

くらぐだからおい

でなさいよ

東「はたしもお

てつだいま

しやう

「我は くらい

まではなつたのさ

「としはどつても

力はぬけぬ

断「君よりはへんきやう

をしてきたよ

「くん／＼おひき  
なさいよ

「君よりは  
つよいつもりさ

「こつちはまけぬ  
つもりさ

しげ  
「久しぶりでーばん  
いきまじやう

「君がくるなら  
いつでもします

「どんな方がいても  
おねつちやがう に  
いるうちあんしんしねへ

「はやくかたを  
つけまじやう

「ほくもふんぱつを  
するや

彦「こんどは君と  
はじちうつも  
りな

「こんどは君を  
まかすきだ

秀「あんな人たち  
かついてあても  
わつちはおやもと  
さへあればた  
くさんだ

「これかち  
しつまで  
もべんき  
やうくらべ  
をしよを